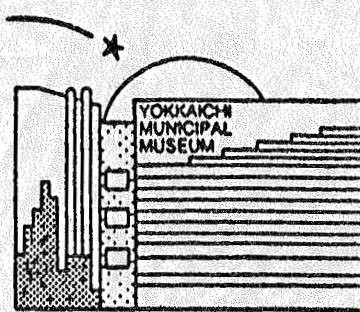


平成10年度

■ 年報 ■

第6号



四日市市立博物館

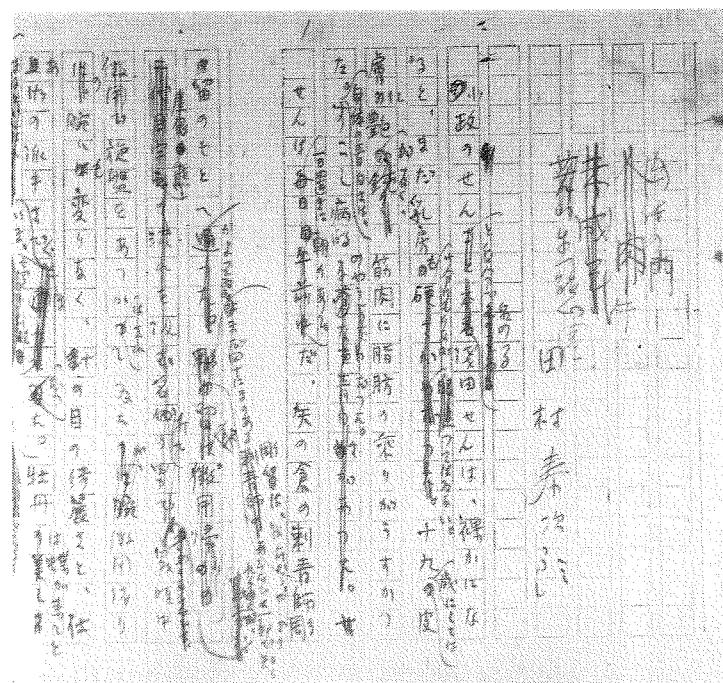
## 四日市市民憲章

私たちの四日市は、西に鈴鹿山脈、東に伊勢湾を望むすばらしい自然に恵まれ、古くから「市」が開かれたまちとして、また、東海道の宿場として栄えてきました。この自然と歴史のうえに近代産業が開花し、世界に広がる港とともに、明日に向かって躍進する都市です。

私たちは、四日市市民であることに誇りと責任をもち、豊かな未来と住みよい郷土を築くため、次のことを誓います。

1. 自然を愛し緑と水のきれいなまちをつくります。
1. やさしい心のかよい合う温かいまちをつくります。
1. きまりを守り楽しく明るいまちをつくります。
1. 伝統を生かし文化の香りのたかいまちをつくります。
1. 産業を育て活気あふれるまちをつくります。

(昭和57年8月1日制定)



『肉体の門』田村泰次郎自筆原稿

田村泰次郎（明治44～昭和58年）は、本市出身の小説家。県立富田中学校（現・四日市高校）を経て、早稲田大学仏文科卒。

早大在学中から「東京派」などに属し、評論、小説を発表していたが、応召により文学活動は中断となる。復員後、『肉体の門』を「群像」（昭和22年3月号）に発表、一躍にして流行作家となる。

この作品は、終戦直後の有楽町界隈で身をひさぐ女性たちを題材にして、「肉体」の意味を問い合わせたものであった。単行本として100万部を超えるベスト・セラーとなり、発表後半年で演劇化されるなど、その反響は大きいものがあった。戦後文学の冒頭を飾る作品の一つといえよう。



---

## 年報発刊にあたって

---

平成10年度は開館5年目に当たる、1つの節目の年でした。展覧会は、開館5周年を記念した2つの特別展と5つの企画展を開催し、海外の芸術や日本の美術工芸品を紹介したり、自然史や生活文化・郷土文化の理解の機会を提供するなど、多角的な内容で企画し、市内外から多くの方々に来館していただき、好評を博しました。常設展示では、学校団体利用に供するべく、ワークシートの作成と解説を試みました。

月例土曜講演会は、館職員と外部講師により毎月第3土曜日に実施し、定着したファンを獲得しつつあります。

併設するプラネタリウムでは、季節番組による一般投映や、外部講師を招いてのしし座流星群などタイムリーな話題を提供する特別投映など各種投映事業を実施するとともに、子どもや親子を対象にした天文教室を開催しました。また、移動天文車きらら号の出動により、星座や天体の観望を行い、宇宙への関心を深めていただきました。

天体観望会や展覧会の展示解説は市民ボランティアの積極的な活動にささえられています。古文書解読ボランティアとともに、当館の今後の事業展開の一助となっていたいただけることでしょう。

貴重な文化遺産の保存と活用を図り、市民活動の創造に寄与する生涯学習の場としてさまざまな情報を交換し、より親しまれ期待される博物館を目指していきます。

平成11年10月

四日市市立博物館



<移動天文車「きらら号」観望会>



---

## 目 次

---

### 館蔵資料紹介 VI

#### 年報発刊にあたって

#### 目次

##### I. 事業概要

1. 常設展示 .....	1
2. 特別等展示 .....	2
3. 教育普及事業 .....	9
4. 資料収集事業 .....	14
5. 調査研究事業 .....	20
6. プラネタリウム事業 .....	21
7. 移動天文車 .....	23

##### II. 管理・運営

1. 組織 .....	24
2. 予算 .....	25
3. 博物館協議会 .....	26
4. 利用状況 .....	27
5. 関係法規 .....	30

III. 施設概要 .....	33
-----------------	----

IV. 利用案内 .....	36
----------------	----

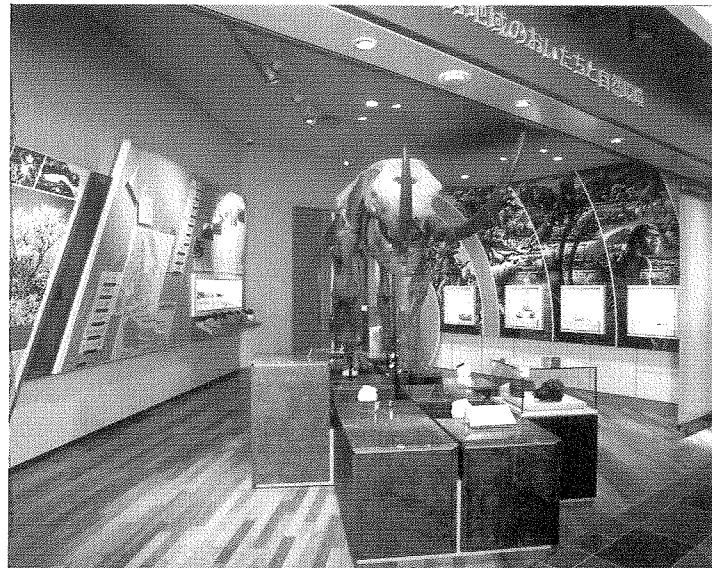


## I. 事業概要

### 1. 常設展示

基本テーマ『伊勢湾と鈴鹿山脈のある四日市の文化と生活環境』をもとに、地質時代から現代までの四日市市および北勢地域のあゆみを、テーマ1『北勢地域のおいたちと自然環境』、テーマ2『原始・古代の人びとの生活』、テーマ3『「四日市」と「四日市庭浦」の成立』、テーマ4『東海道と伊勢参宮道の賑わい』、テーマ5『四日市港と近代産業の発展』、テーマ6『戦災からの復興と都市の創造』とから構成し、その時代の特色を浮き立たせるよう工夫している。

また、サルビアシアターでは12面マルチスクリーンによる展示紹介とハイビジョン番組の上映を行い、コーナー展示では、戦前には東海地方有数の祭りであった「四日市祭り」と、「浮世絵」に描かれた四日市の展示を行っている。



<テーマ1 展示室>

#### ●平成10年度常設展示

開館日数 307日間

観覧者数 34,411名

観 覧 料	一 般	210円
	高・大生	160円
	小・中生	100円

## 2. 特別等展示

本年度は開館5周年を記念して2つの特別展「マリア・テレジア古伊万里コレクション展」と「国立博物館名宝展」を開催した。また、企画展では、「生命史20億年」「暮らしの中の木の椅子展」「発明王エジソン展」「'98イタリア・ボローニヤ国際絵本原画展」、「萬古～流行と不易の焼物」を開催した。共催事業として「第40回北勢地区高等学校美術展」を開催した。

### (1) 企画展1 「生命史20億年 — ヒトのルーツをさぐる」

人類は数百万年前に誕生した。これは地球46億年の歴史から見れば非常に短い時間であるが、その間に自らを生み出した自然に大きな影響を与えるほどの存在になった。展示では、多数の化石や模型を用いて人類へと至る進化の秘密を探り、あわせて将来を考える契機とした。

また、ラウンジに絵描きコーナーを設け、未来の生き物を自由に描いてもらい、期間中に1300枚以上の子どもたちの絵を掲出した。

〔主な展示資料等〕 首長竜の骨格などの模型、化石など約500点。

○期間：4月10日(金)～5月31日(日)まで 45日間

○観覧料：一般 600円 高大生 400円 小中生 100円（常設展示を含む）

○入館者数：8,169人

○担当者所感（企画普及係長兼学芸員：東條 寛）

ラウンジで絵を描いてもらいそれを掲出するという試みが非常にインパクトがあったようだ。

また、中日新聞の13回の連載記事や観覧者の感想記事等やチラシの折り込みなどにより、多数の入場者を数えることができたと思われる。今回の展示は、平成7年当時から内諾していたため、数年前から計画をたてることができたことも展覧会が成功したことの大いなる要因といえる。



## (2) 企画展2 「暮らしの中の木の椅子展」

木工家や家具デザイナーが製作した木の椅子の作品展。全国公募に658点の作品が寄せられ、その中から103点が選考されたもの。自由に座ってみることができる展示とした。同じ形で木の素材を変えた椅子も併せて展示し、触ったり持ち上げてみたりして素材の違いを実感してもらうコーナーも設置した。気にいった椅子の作者に手紙をかいてもらうことも行った。

〔主な展示資料等〕 木の椅子 103点



○期 間：6月7日(日)～6月30日(日)まで 21日間

○観覧料：一般 600円 高大生 400円 小中生 100円（常設展示を含む）

○入館者数：4,045人

○関連行事 ミュージアム・トーク（講演と作品講評）講師 北海道東海大学教授 織田憲嗣

6月12日 於：講座室と特別展示室 入場者数：48人

ミュージアム・コンサートI 演奏者 SELENE

6月14日 於：特別展示室 入場者数：108人

ミュージアム・コンサートII 演奏者 ROS PUROS

6月27日 於：特別展示室 入場者数：108人

○担当者所感（管理係学芸員：伊藤幸子）

PRは、誰を対象にどのようにしたら効果的かということを考えた。県内の木工所や家具店にポスターを送ったり、西日本のデザイン学校に案内を出したりした。会期中、メジャーで作品を測ったり作品を下から覗き込んだりして、熱心にメモをする家具製作関係者と思われる観覧者が終始みえたのが嬉しかった。FM三重やNHKのイベント情報等マスメディアの広報と、ポスターなどの広報、新聞の連載などいろんな方法を使って重複して広報すると効果が大と思われた。

### (3) 企画展3 「発明王エジソン展」

白熱電球や蓄音機をはじめ、多くの発明を成し遂げ今日の我々の生活に恩恵を与えたトマス・エジソン。展示や体験コーナーにより、彼の発明品や努力の跡を理解してもらう。

〔主な展示資料等〕 通信機・電話機・蓄音機等発明品、写真パネル、当時の写真、空中スクリーン・飛びだす立体写真等体験コーナー他



○期 間：7月5日(日)～8月31日(月)まで 50日間

○観覧料：一般 600円 高大生 400円 小中生 100円（常設展示を含む）

○入館者数：10, 283人

○関連行事 講演会 「不思議な笛の世界」 神谷 徹

7月19日 於：地場産業振興センター 6階ホール

○担当者所感（企画普及係：上杉達也）

エジソンは、大人には知名度があるが、子供たちには知名度が意外と低いため入館者数がそれほど伸びないのではないかと心配されたが、入館者数やアンケートの結果を見ると概ね好評であったように思う。特に体験コーナーを設け、実際に楽しみながら学べるようにした点、ビデオ・絵等によりエピソードをまじえ、エジソンを分かりやすく紹介した点、市内及び三重郡を中心に小中学校にチラシを配布したのをはじめ中日新聞に折り込みチラシを実施したりしてPRに務めた点などがその要因であったようだ。

#### (4) 特別展1 「マリア・テレジア古伊万里コレクション展」

中国磁器と同様、ヨーロッパ貴族たちに熱心に収集された古伊万里磁器を、オーストリア・ハプスブルク家マリア・テレジアのコレクションの中から展示する。

〔主な展示資料等〕 色絵草花文瓶、色絵婦人像燭台、マリア・テレジアの肖像(パステル画)等



○期 間：9月5日(土)～10月4日(日)まで 26日間

○観覧料：一般 900円 高大生 600円 小中生 100円（常設展示を含む）

○入館者数：5,069人

○関連行事 講演会 「ウイーンと日本」 ボン大学教授 ペーター・パンツァー

受講者：168人

ミュージアム・リユート・コンサート 中川 祥治

参加者：180人

○担当者所感（管理係学芸員：伊藤幸子）

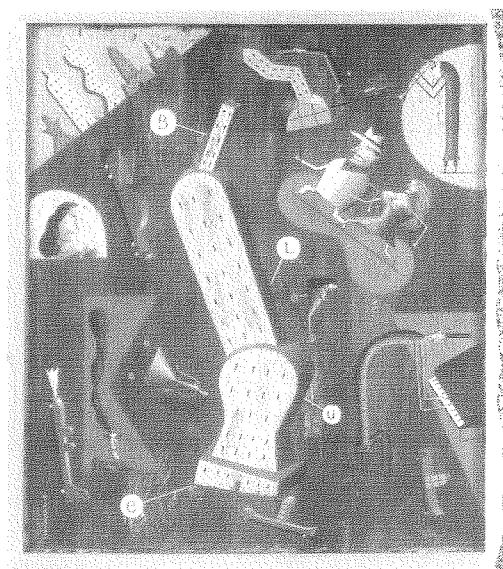
歴史的にも美術工芸的にもアプローチできる内容だったためか、来館者に好評だった。展示も、壁をつくらず、ケースを並べて展示したため、オープンな会場で白い宝石と呼ばれた磁器が光を浴びている中を観覧してもらったのもよかったです。

9月は学校団体の利用が殆どないため、この時期に当てる展覧会は子どもよりも大人の観覧者であるなど、時期と対象者を考慮すべきかとも思った。

## (5) 企画展4 「'98 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」

毎年「ボローニャ児童図書展」で開催されている絵本原画コンクールの入選作品を展示するもの。世界中のイラストレーターから応募参加があり、新人作家の登竜門としての機能を果たすコンクールで、バラエティーに富んだ教育的にも十分な内容である。

〔主な展示資料等〕 入選作 約400点とマルタン・ジャリ作品特集



「マルタン・ジャリ  
[ラブソディ・イン・ブルー]」

○期 間：10月9日(金)～11月17日(火)まで 35日間

○観覧料：一般 600円 高大生 400円 小中生 100円（常設展示を含む）

○入館者数：9,326人

○関連行事 おもしろトーク「大人のための絵本講座」 あべ 弘士、増田 喜昭

10月18日 於：地場産業振興センター6階ホール 入場者数：210人

大人のためのワークショップ「描くからだになる」 増田喜昭と遊美術スタッフ

11月1日 於：講座室 入場者数：20人

子どものためのワークショップ「しきけ絵本を作ろう」企画普及係

11月3日 於：講座室 入場者数：25人

子どものためのゆびにんぎょうげきじょう にしわきしんすけ

10月18日、11月1日 於：講座室 入場者数：計53人

○担当者所感（企画普及係：井川和道）

1日平均で210人という数字は当館としては高い数値といえる。特に平日の観覧者が平均で110人である点が注目される。一般女性の関心が最も高いという印象を受けた。高大生の関心が比較的高かったのも特徴のひとつに挙げられよう。

## (6) 特別展2 「国立博物館・美術館巡回展 日本の美～縄文から江戸まで」

東京国立博物館・京都国立博物館・奈良国立博物館・国立歴史民俗博物館及び文化庁が所蔵する考古資料から彫刻、絵画書跡、染織、漆工、陶磁、金工、刀剣の各分野の名品を展示して、近世までの日本美術の精華とその歴史をわかりやすく展示する。

〔主な展示資料等〕 国宝6点、重要文化財50点等 総149点



○期 間：12月13日(日)～1月18日(月)まで 29日間

○観覧料：一般 600円 高大生 400円 小中生 100円（常設展示を含む）

○入館者数：7,540人

○担当者所感（企画普及係：東條 寛・上杉達也）

全国で開催を希望する博物館が多くあるなかで、開館してまだ日の浅い当館で開催できたことは、大変意義深いことだと思われる。各国立博物館のものが一ヵ所で見ることができたことは大変よかったです。子どもたちにとっても、教科書などでしか見る機会がなかなかないものを、実際に間近にみることができて大いにプラスであったと思う。年末は入館者数はやはり期待できない。

## (7) 企画展 5 「萬古～流行と不易の焼物」

(財)ふるさと伝統産業振興岡田財団のコレクションの中から、古萬古から有節萬古・射和萬古に至る萬古焼の名品を展示する。

[主な展示資料等] 古萬古「赤絵山水文仙蓋瓶」  
有節萬古「色絵菊花文急須」



○期 間：2月11日(木)～3月28日(日)まで 40日間

○観覧料：一般 210円 高大生 160円 小中生 100円（常設展示を含む）

○入館者数：5,086人

○担当者所感（企画普及係：東條 寛・上杉達也）

萬古焼という四日市の代表的な地場産業に関する展示であり、いつもにもまして関心を寄せる市民の方が多かったように思う。今後も引き続きこのような地元関連の展覧会を開催することは重要であり、展覧会を開催したことが当館にとって長い目でみてプラスになるような展覧会の開催のありかたにしていくことがありますます重要だろう。

### 3. 教育普及事業

博物館の重要な機能のひとつとして展示・公開や調査研究と並んで教育普及の機能があげられる。市民の学習意欲を向上させていくことも、当館の果たすべき任務と位置づけ、従来よりも増して力を入れており、市民により親しみ学んでもらえる施設として多くの学習の機会を提供している。その一端として月例土曜講演会は、日時を決めていることもあって定着してきた。

学校団体等の常設展観覧時の解説も工夫した。

#### (1) 月例土曜講演会

月1回、第3土曜日（14：00～15：30の予定）に開催。歴史～天文にわたるバラエティーに富んだテーマの講演会。

##### 第1回 4月18日 「神事と祭礼 一宮座の祭礼と儀礼」

当館学芸員 東條 寛	入場者 80名
------------	---------

第2回 5月16日 「大宇宙の誕生」 名古屋大学教授 福井 康雄	入場者 120名
----------------------------------	----------

第3回 6月20日 「家康の伊勢湾渡海伝承」	
------------------------	--

四日市市文化振興財団学芸員 広瀬 敏	入場者 95名
--------------------	---------

第4回 7月18日 「奥の細道の世界」 愛知教育大学教授 岡本 勝	入場者 125名
-----------------------------------	----------

第5回 8月8日 「日本の歴史とトンボの関わり」	
--------------------------	--

トンボ研究家 石田 昇三	入場者 55名
--------------	---------

第6回 9月19日 「昭和戦前期の神社制度」 当館学芸員 秦 昌弘	入場者 60名
-----------------------------------	---------

第7回 10月17日 「ことし流星の雨が降る」 当館顧問 山田 卓	入場者 50名
-----------------------------------	---------

第8回 11月21日 「正倉院文書所載の鑑真請來阿弥陀浄土変相について」	
--------------------------------------	--

当館学芸員 堀越 光信	入場者 60名
-------------	---------

第9回 12月12日 「開館5周年記念講演会 一古代の文字への誘い」	
------------------------------------	--

当館顧問 水野 正好	入場者 63名
------------	---------

第10回 1月16日 「民俗芸能と神楽歌 一細男舞の世界」	
-------------------------------	--

当館顧問 上井 久義	入場者 60名
------------	---------

第11回 2月20日 「三重県下出土の銅鐸をめぐって」	
-----------------------------	--

皇學館大学教授 岡田 登	入場者 75名
--------------	---------

第12回 3月20日 「日本靈異記の世界 一古代民間信仰としての仏教」	
-------------------------------------	--

当館学芸員 田中 伸一	入場者 80名
-------------	---------



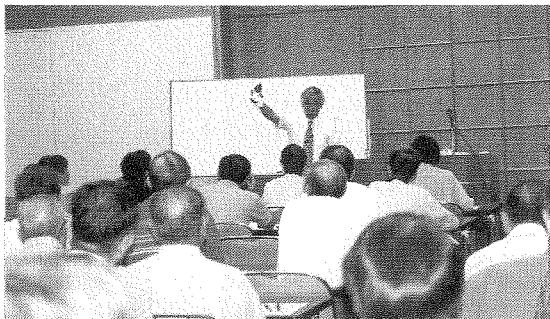
〈講演会〉

## (2) 博物館教室

○夏の教室「入門・考古学」 6月2日・16日・30日、7月14日 全4回 参加45名

講 師 当館学芸員 中野 千幸

○秋の教室「四日市の謎を探る」 9月8日、10月6日・20日・27日、11月10日・24日 全6回



講 師 三重大学名誉教授 八賀 晋 参加80名

みえ夢学園高校教諭 飯田 良一

旧四日市を語る会 岡野 繁松

岐阜大学助教授 早川 万年

当館学芸員 秦 昌弘

当館学芸員 東條 寛

○春の教室「祭礼図を読む」 2月2日・16日、3月2日・16日 全4回 参加41名

講 師 当館学芸員 東條 寛

## (3) 博物館実習

学芸員資格取得に必要な博物館実習課程履修のため、各大学から要請のあった実習生の受け入れを実施し、博物館の実務の概要を講義と実習で学ばせた。

○8月3日(月)～8月7日(金) 16名

三重大学	4名	九州産業大学	1名
------	----	--------	----

徳島文理大学	2名	静岡大学	1名
--------	----	------	----

信州大学	1名	京都外国語大学	1名
------	----	---------	----

岐阜女子大学	1名	京都女子大学	1名
--------	----	--------	----

愛知教育大学	1名	大阪学院大学	1名
--------	----	--------	----

中京女子大学	1名	筑波大学	1名
--------	----	------	----

## 日 程

時 日	9:00～10:30	10:40～12:10	13:10～14:30	14:40～16:10	～17:00
8／3 (月)	館長挨拶／館内見学	博物館における文化財の保護	自然資料の収集・保存と資料整理	プラネタリウム見学	「課題」について説明 ※
8／4 (火)	ミニ展示準備 パネル・キャプション作成	展覧会について	ミニ展示準備作業	博物館における普及事業	課題準備
8／5 (水)	梱包材料作り	美術資料等の取扱い		資料写真の撮影方法	
8／6 (木)	博物館におけるボランティア活動	「課題」準備・発表・討議・まとめ			副館長挨拶
8／7 (金)	レポート作成・提出				

※「課題」とは、魅力ある博物館づくりを大テーマに、グループごとに小テーマを選び、それぞれ検討・企画するもの。

(4) 三重県移動博物館

三重県博物館協会移動博物館へ浮世絵 6 点を出品。

主催：三重県

磯部町

磯部町教育委員会

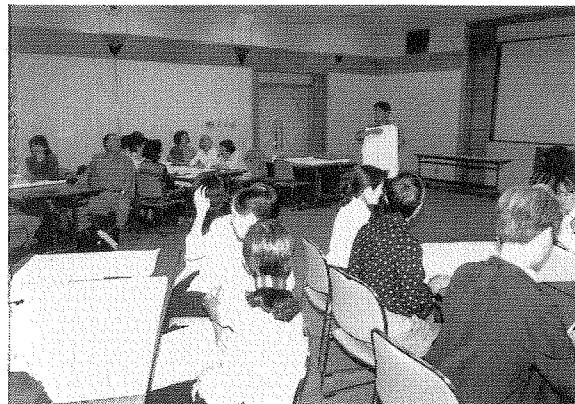
期間：11月14日(金)～16日(日)

場所：磯部町社会福祉センター

(5) 解説ボランティア

<ボランティア研修会>

昨年度と同様に各展覧会ごとに事前研修を実施し（除く：暮らしの中の木の椅子展）、さらにボランティア各自の自主学習の成果を来館者へ還元。



展覧会名	開催日数	活動人数	延べ活動数
「生命史 20 億年」	45 日間	83 名	188 名
「暮らしの中の木の椅子展」	21 日間	83 名	122 名
「発明王エジソン展」	50 日間	83 名	230 名
「マリア・テレジア古伊万里コレクション展」	26 日間	83 名	140 名
「'98 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」	35 日間	83 名	149 名
「日本の美～縄文から江戸まで」	29 日間	132 名	260 名
「萬古～流行と不易の焼物」	40 日間	132 名	245 名

(6) 古文書ボランティア

博物館教室（古文書の読み解講座）を受講した方々が、ボランティア「四博古文書会」をつくり「四日市宿 清水本陣文書」（寄託）資料を翻刻し、自主学習の成果を本館「研究紀要」第6号に供した。

(7) 入館者調査

今後の博物館のあり方や企画・運営等に資するため、各企画展・特別展ごとに「入館者アンケート」を実施し、入館者の情報分析を実施。市民・利用者側のニーズの把握につとめた。

### (8) 講師等派遣活動

従来より、地区市民センター等館外で行われる講演会等への講師派遣を実施してきた。こうした派遣活動は博物館の担うべき教育普及機能と市民の学習意欲とのパイプ役として、また博物館へ親しんでもらうための活動として積極的に対応することとした。

- ・企画普及係長兼学芸員 東條 寛 関西大学非常勤講師（民俗学）  
三重県祭礼行事記録調査「大入道山車」報告書執筆調査員  
「四日市市史」執筆員
- ・管理係長兼学芸員 堀越光信 皇学館大学史料編纂所研究嘱託（古代史）  
皇学館大学史料編纂所公開講座講師  
見学会現地講師（滋賀県＝名部・信楽）  
（兵庫県＝加古川市・小野市）
- ・企画普及係主幹兼学芸員 秦 昌弘 四日市郷土史研究会講師  
市民サロン「夢悠久」講師
- ・企画普及係学芸員 中野千幸 国立歴史民俗博物館展示プロジェクト委員  
女性センター「木曜の夜のおしゃべりスペース」講師  
四郷地区市民センター「高齢者講座」講師  
四日市港開港百周年記念行事実行委員会「四日市港探検隊」  
ワーキング部会委員

### (9) 広報活動

企画展・特別展をはじめとする各事業の広報は、市広報はもちろん「博物館ニュース」の発行、タウン誌、各報道機関への情報提供（記者発表・資料提供等）、社会教育・学校教育機関、地区市民センターその他公共施設及び商業施設へのポスター・チラシの配付・掲示を中心に行ってきた。また、各事業ごとに戦略的に広報をおこなってきた。

### (10) 博物館ニュースの発行

博物館の活動を紹介し、子どもにも親しめる情報を発進するために、隔月に「博物館ニュース」を発行した。配布対象は、市内公共施設、学校、県内文化施設などである。

### (11) 施設の利用

当館の施設の利用については、四日市市立博物館条例第5条により特別展示室及び講座室について博物館の設置目的に反しない、博物館事業に支障のない範囲に於いて、市民の教育・学術及び文化の発展に寄与するものについて利用を許可している。また、1階エントランスホールについても、支障のない限り開放する方向で対応した。10年度実績は次のとおりであった。

#### 〔特別展示室〕

- ・「第13回和紙ちぎり絵展」 11月20日(金)～23日(月) 4階特別展示室  
主催：四日市ちぎり絵サークル
- ・「北勢地区高等学校美術展」 1月28日(木)～2月7日(日) 4階特別展示室  
主催：三重県高等学校  
美術工芸教育研究会北勢支部  
四日市市立博物館

## 〔講座室〕

- ・講演会 5月23日(土)～3月27日(土) 7回 歴史ゼミナール四日市
- ・芸術セミナー 8月29日(土) 財四日市市文化振興財団
- ・文化財保護審議会 9月14日(月) 三重県教育委員会
- ・四日市港撮影会公開映写会 9月23日(水) 三重県アマチュア映像連盟
- ・まちづくりワークショップ 12月6日(日) 四日市市市民生活課
- ・講演会 12月20日(日) (社)二紀会三重支部
- ・御所人形展 3月7日(日)～3月9日(火) 櫻並人形教室
- ・実務研修会 3月11日(木) 三重県博物館協会
- ・今を昔を語ろう会 9月18日(金) 10月16日(金) 11月13日(金) 旧四日市を語る会

## 〔1階エントランスホール〕

- ・染色展 7月30日(木)～8月9日(日) 染色研究会
- ・里山ワールド 9月13日(日) よっかいち環境クラブ
- ・四日市市文化功労者表彰式 11月3日(火) 四日市市教育委員会文化課
- ・水のある風景 11月6日(金)～24日(火) 四日市市水道局
- ・N P Oパネル展 11月26日(木)～12月8日(火) 福井・滋賀・三重市民活動フォーラム
- ・レッドリボン展示 11月29日(日)～12月13日(日) 三重県高校生ボランティアネットワーク
- ・N H K F M放送サロン・ド・クリスマス 12月15日(火) N H K津放送局
- ・版画年賀状展 1月11日(月)～17日(日) 四日市木版画友の会
- ・放送大学P Rコーナー 1月30日(土)～31日(日) 放送大学三重学習センター
- ・萬古焼伝統産業技術マイスター表彰式 2月11日(木) 四日市市商工課
- ・明るく楽しい家庭づくり作品展 3月6日(土)～16日(火) 四日市青少年育成市民会議
- ・シドニー港探検報告展 3月26日(金)～4月6日(火) 四日市港開港百周年記念行事実行委員会

## (12) 関連出版物

特別展図録				
「マリア・テレジア古伊万里コレクション展」	B 5	120P	700部	¥ 1,800
「日本の美～縄文から江戸まで」	A 4	159P	1,500部	¥ 1,500
企画展図録				
「生命史20億年～ヒトのルーツをさぐる」	A 4	92P	500部	¥ 1,200
「暮らしの中の木の椅子展」	A 4	75P	340部	¥ 1,800
「'98イタリア・ポローニヤ国際絵本原画展」	A 4	213P	300部	¥ 2,300
「萬古～流行と不易の焼物」	A 4	93P	2,000部	¥ 1,500
研究紀要 第6号	A 4	97P	500部	¥ 800
年報 第5号	A 4	34P	500部	—

#### 4. 資料収集事業

博物館の諸活動の中で最も基本となる活動として、各資料の購入及び収集の充実を図り、その保存に努めた。なお、資料収集上の専門事項について審議・指導・助言を行うため「資料委員会」を設置している。

[四日市市立博物館  
資料委員会委員]

◎上野秀治	歴史	皇学館大学教授
山沢義貴	考古	三重県埋蔵文化財センター次長
○毛利伊知郎	絵画	三重県立美術館学芸課長
井上喜久男	工芸	愛知県陶磁資料館主任学芸員
茅原弘	産業史	日本産業技術史学会会員
市橋甫	自然	御在所ロープウェイ(株)役員
印南敏秀	民俗	愛知大学教養部助教授

◎委員長 ○副委員長（順不同・敬称略）平成11年3月1日現在

##### (1) 第1回資料委員会

開催日：10月13日(火)

議題：平成10年度資料収集について

##### (2) 収蔵庫燻蒸 12月1日(火)～3日(木) (1・3日は臨時休館)

##### (3) 資料の状況

1 人 文 科 学 資 料	区分		実物	標本	模写 模型
	(1) 古美術	575	4	10	
	(2) 近代美術	385	0	0	
	(3) 考古学	209	6	20	
	(4) 民俗	3,787	0	9	
	(5) 民族・人類学	0	0	0	
	(6) 歴史	4,610	0	37	
	(7) その他	73	4	9	
	計	9,639	14	84	
	図書	写真	その他		
	3,273	67	110		

2 自 然 科 学 資 料	区分		実物 (標本)	模型
	(1) 動物資料	2	0	0
	(2) 植物資料	3,272		0
	(3) 地学資料	93		2
	(4) 理工学資料	0		0
	(5) 天文資料	7		0
	(6) その他	0		1
	計	3,372		3
	図書	写真	その他	
	253	59	10	

## (4) 購入資料

資料名・作者等	分野	形状・形態
四日市港附近町村図	歴史	一点
四日市商業学校規則	歴史	一冊
「往来一札之事」	歴史	一点
四日市築港計畫説明書	歴史	一点
「伊勢国白子山観音寺子安観音境内一覽之図」	歴史	三点
短冊 橋 守部2、3	歴史	二点
伊賀鉄道(株) 仮株券	歴史	一点
「笹野家文書」	歴史	一括
富樫広蔵 短冊	歴史	一点
「四日市関係資料一括」	歴史	一括
「参宮鉄道開業祝」	歴史	一点
大日本郡分地図・三重県之部	歴史	一点
伊勢白子鼓ヶ浦海岸風光	歴史	一点
四日市港繁昌双六	歴史	一点
更紗模様貼込貼	歴史	一点
霧	歴史	一冊
今日われ欲情す	歴史	一冊
肉体の都	歴史	一冊
人間の街パリ	歴史	一冊
わが文壇青春記	歴史	一冊
齊藤拙堂詩選	歴史	一冊
牙斎詩稿	歴史	全5卷
肉体の門	歴史	一冊
「八羽光穂短冊」	歴史	一冊
復刻日本の民族音楽(CD 36枚組)	民俗	CD 36枚
「祇園山鉾祭礼鑑」	民俗	一冊

「東都日枝大神祭礼練込之図 3枚組」	民俗	3枚綴り
「鯨図巻」	民俗	一巻
瓦版不二御カリの図 二枚	民俗	2枚組
三重県地誌教案	歴史	一冊
勢州領寺社由來目録	歴史	一冊
諸国道中記	歴史	一冊
伊勢式内神社検録	歴史	一冊
多度大神宮略縁起	歴史	一冊
三重県医学校教則他	歴史	計5冊
かわらばん御巡幸御供奉一覧	歴史	一点
伊勢国白子山子安觀音境内一覧之図	歴史	一点
2代広重 東海道53駅 四日市	歴史	一枚
御巡幸供奉官員録	歴史	一枚
短歌撰格	歴史	一冊
文章撰格	歴史	一冊
三重県布達集（明治15～19年）	歴史	5冊
三重県定置漁業誌	歴史	2冊
御祭禮の図	歴史	一枚
参宮みやげ	歴史	8枚
大和名所図会	歴史	6冊
広重 三代豊国双筆53次 四日市	歴史	一枚
勢陽雑誌	歴史	2冊
北勢古志 上中下	歴史	2冊
江原江戸定府武鑑	歴史	一冊
伊勢国内部川養水路絵図	歴史	一巻
竹籠形面付掛花入	美術工芸	一個
蘇鉄形花鳥文掛花入	美術工芸	一個

鶴草花文掛花入	美術工芸	一対
練込蓮形鶴絵コーヒーカップ	美術工芸	2客
編み込み松竹梅文花瓶	美術工芸	一個
三猿桃文木形土瓶	美術工芸	一個
糸瓜形掛花入	美術工芸	一個
新撰雛形	歴史	全5冊
丹羽文雄書簡	歴史	一点
丹羽文雄年賀状	歴史	一枚
芳員東海道53次 石薬師・龜山	歴史	一紙
四日市フェア 稲・地球・農機具	歴史	一枚
四日市フェア 稲・地球	歴史	一枚
全日本農機具大博覧会	歴史	一枚
四日市フェア ハト3羽	歴史	一枚
四日市博 スコップ・歯車	歴史	一枚
四日市フェア ヤンマーディーゼル	歴史	一枚
四日市フェア ハト	歴史	一枚
第6回市民体育祭	歴史	一枚
芳員東海道53次 庄野・閔	歴史	一紙
芳員東海道53次 宮・四日市	歴史	一紙
田村泰治郎 小色紙	歴史	一枚
花乃舎筆三幅對「中猩猩図 左右四季草花図」	美術工芸	絹本着色
聿脩錄 上・下	歴史	2冊
香蝶樓国貞 東海道五十三次之内 江戸～浜松	美術工芸	一紙中版 30枚
香蝶樓国貞 東海道五十三次之内 舞坂～京都	美術工芸	一紙中版 26枚
広重 四日市蜃氣樓図(肉筆)	美術工芸	絹本着色
古萬古赤絵台鉢	美術工芸	一個
大軌参急沿線案内	歴史	一枚

四日市商業新聞 他3点	歴史	計9点
長歌撰格（上・下）	歴史	二冊
孝経発揮	歴史	木版刷
菊花文木型急須	美術工芸	一個
鹿文香合	美術工芸	一個
赤絵窓山水文鉢	美術工芸	一個
八掛龍文水指	美術工芸	一個
富士文軍配形	美術工芸	一個
兎置物	美術工芸	一個
木型作り面土瓶	美術工芸	一個
波鶴文木型土瓶	美術工芸	一個
鷹形急須	美術工芸	一個
練込蓮蟹文掛け花入	美術工芸	一個
編籠形菊花文掛け花入	美術工芸	一個
象頭形花鳥文掛け花入	美術工芸	一個
豆形トンボ文掛け花入	美術工芸	一個
白土手捻り花瓶	美術工芸	一個
数印黒茶碗	美術工芸	一個
花鳥図 増山雪斎	美術工芸	絹本着色
古萬古色絵大徳利	美術工芸	一個

## (5) 寄贈資料関係

資料名・作者等	分野	形状・形態
大森家文書	歴史	一括
米札 2点・銀札 2点	歴史	計4点
四日市の絵ハガキ	歴史	一組
行幸記念写真帳（昭和26年11月） 四日市警察本部・昭和27年刊	歴史	一点
市制概要 昭和56年～平成9年	歴史	17冊
(四日市高校関係資料) ・緑旗 1号、2号 ・泗高学生新聞 創刊号、2号～7号 ・泗高学生新聞（大四日市高校時のもの） 1号、2号、特集号、3号 ・創立七十年記念展示出品総目録	歴史	14点
戦前期の四日市に関する資料 ・絵ハガキ 23組、2枚 ・地図 17点 ・小冊子 4点	歴史	計46点
田村泰治郎 原稿	歴史	一括
地域振興券 1000円 (四日市市・見本・No.00000)	歴史	一点
萬古焼花瓶	美術工芸	一個
出口対石画 1点 萬古焼（春山）4点	美術工芸	計5点
謄写罐（VANCO・萬古謄写罐） 昭和42年製	歴史	2点
吉村家文書 6箱（480点） 鶴町有文書 11箱（608点） 伊藤伝七家文書 4箱（659点） 丹羽家文書 12箱（924点）	歴史	一括
萬古焼 急須 1点 土鉢 1点	美術工芸	計2点
伊勢国細見図 全（文久改正）	歴史	一点

## 5. 調査研究事業

博物館専門職員としての資質を高め、専門分野の学術的研究、また豊富な知識を享受し、特別展示の開催等、多くの事業に資するため、各種情報の収集に努めつつ、調査研究活動を行ってきた。今後も常設展示・特別展示等の充実、教育普及事業の活発化、各専門分野における自己研鑽に努めつつ、他の博物館や公共機関等の調査研究活動への協力、資料収集・展示等への技術的助言と援助、またいろいろな施設で開催される各種の講演会等への講師派遣などで成果還元を図ることを目的として、館及び分野毎の共通テーマに基づいた年度毎の課題調査、学芸員個別の研究テーマによる調査、特別展・企画展に向けた事前の調査を柱として、博物館の諸活動を支える基礎的活動として活発に展開していきたいと考える。

### ●平成10年度調査研究テーマ

#### ・市内寺院等資料所在調査事業

平成7年度から4ヶ年計画で実施している市内寺院の各種資料の所在調査。年間55ヶ寺程度の件数を毎年実施している。なお、特に専門的な調査の必要な資料が確認された場合には当該分野の専門家による調査を行っている。

#### ・東海三県六道信仰調査事業

愛知・三重・岐阜の東海三県における六道信仰に関する仏像や絵画等を総合的に調査研究する。その成果については、将来的に特別展・企画展として発表する予定である。

### ●『研究紀要』第6号の発行

○規格：A4 97P 500部 販売価格 ￥800

○内容：・稲葉三右衛門による築港事業の起業と挫折 企画普及係主幹兼学芸員 秦 昌弘

・資料翻刻 四日市宿 清水本陣文書 四博古文書会

・シンポジウム「復興にかけた夢～重源 東大寺復興の歴史・美術・建築～」

上横手雅敬・水野敬三郎・櫻井敏雄・赤川一博・堀越 光信

・きらら号とともに 天文係指導主事 岩間 三有

・ワークシートをてがかりにした学校見学の考察 企画普及係指導主事 井川 和道

・移動天文車「きらら号」の活動実態について 加藤 誠一

・企画展「生命史20億年 —ヒトのルーツをさぐる」企画普及係長 東條 寛

・企画展「暮らしの中の木の椅子展」 管理係主幹 伊藤 幸子

・企画展「発明王 エジソン展」 企画普及係主事 上杉 達也

・企画展「マリア・テレジア古伊万里コレクション展」 管理係主幹 伊藤 幸子

・企画展「'98 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」 企画普及係指導主事 井川 和道

・特別展「国立博物館・美術館巡回展 日本の美～縄文から江戸まで」

企画普及係長 東條 寛

### ●研修等

専門職員としての資質向上を図るために、学芸員1名を奈良国立博物館での上級キューレーター研修に派遣した。さらに各学芸員が文化庁等の主催する各種研修に積極的に参加した。

#### ・11月8日～11日 東京大学総合研究博物館「学芸員専修コース」

参加者：企画普及係長 東條 寛

#### ・11月9日～13日 指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー

参加者：企画普及係兼学芸員 中野 千幸

- ・12月16日～17日 歴史民俗資料館等専門職員研修（文化庁・国立歴史民俗博物館主催）  
参加者：企画普及係学芸員 秦 昌弘
- ・12月17日～18日 平成10年度博物館指導者研究協議会（庶務部門）  
参加者：副館長 森 和江
- ・H11年2月18日～19日 平成10年度博物館指導者研究協議会（歴史部門）  
参加者：企画普及係指導主事 井川 和道
- ・3月2日～3日 平成10年度博物館指導者研究協議会（美術部門）  
参加者：企画普及係長 東條 寛

## 6. プラネタリウム事業

- ◎天文展示 テーマ「宇宙観500年の歴史 天体写真・隕石等の展示」  
映像コーナーの設置「パソコンで楽しむ星空ガイド」  
「映像で楽しむ天文学」  
「ひまわり気象台」

### ◎投映活動

#### ○一般投映

##### 〔投映番組〕

###### ①季節番組

春番組～6/14	夏番組6/21～9/13	秋番組9/20～12/6	冬番組12/13～3/14	春番組3/21～
春の星空解説と流れ星とほうき星	夏の星空解説とウルトラマン	秋の星空解説とピッグパン	冬の星空解説と冬馬くんの星めぐり	春の星空解説と太陽へのミステリーツアー

###### ②解説番組 当日の星空をもとにして解説者が星・天体・星座等を解説

曜 日	10:30～	13:00～	14:30～	16:00～
平 日	団体利用	季節番組	季節番組	季節番組
土・日曜日・祝日	解説番組	季節番組	季節番組	季節番組
学校長期休業期間	季節番組	季節番組	季節番組	季節番組

\*団体利用については、学校・園その他の団体で20名以上の観覧がある場合  
 ①幼児・低学年向き解説番組  
 ②小学校5年生用  
 ③その他学年に応じた内容で投映

#### ○特別投映

- ・生解説特別投映 4回(6/12 8/7 11/29 2/5)
- ・星空CDコンサート 6回(5/1 7/31 9/11 11/6 12/23 1/22)
- ・星空生演奏コンサート 4回(7/3 10/2 12/19 3/4)
- \*いづれも前売り制

#### ④幼児低学年向き投映（親子観覧）

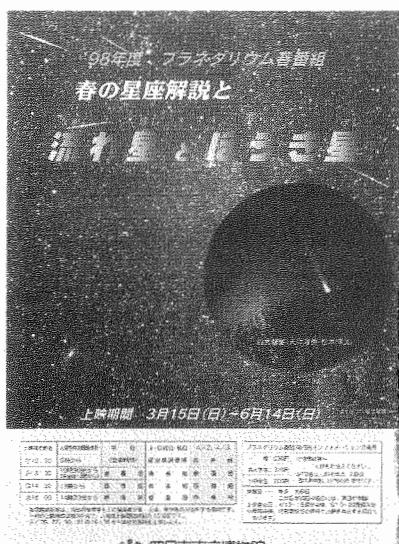
春休み期間 3/25・26・29・30 10:30~ (50分間)

○投映日数	4月：23日	5月：27日	6月：21日	7月：24日
	8月：27日	9月：20日	10月：27日	11月：26日
	12月：16日	1月：25日	2月：24日	3月：21日
				計 281日

○入館者数	4月： 998人	5月： 2,074人	6月： 3,169人	7月： 5,583人
	8月： 7,203人	9月： 1,605人	10月： 2,663人	11月： 2,839人
	12月： 1,644人	1月： 1,781人	2月： 2,066人	3月： 1,312人
				計 32,937人

#### ○教育普及活動

- ・流星群観望会 1回 (11/17)
- ・親子星空教室 2回 (8/4 10/31)
- ・子供天文教室 12回 春の教室 (4/25 5/23 6/27) 夏の教室 (7/25 8/12 9/26)  
秋の教室 (10/27 11/13 12/12) 冬の教室 (1/23 2/27 3/13)
- ・市民天体写真展 11/1 ~ 11/30



## 7. 移動天文車

○きらら号稼働報告 (1998年4月～1999年3月)

四日市市立博物館 99.3

月	観望会 予定回数	観望会 実施回数	天文教室 実施回数	中止回数	観望会 参加人数	天文教室 参加人数	総合計人数	天文指導員 参加のべ人数
4月	2回	2回	0回	0回	230人	一人	230人	2人
5月	5	2	1	2	150	88	238	8
6月	2	0	0	2	—	—	0	0
7月	6	2	2	2	130	150	280	7
8月	16	9	4	3	790	180	970	23
9月	7	4	2	1	200	80	280	14
10月	15	11	2	2	980	110	1,090	24
11月	14	12	0	2	870	—	870	30
12月	5	3	1	1	160	15	175	11
1月	2	1	0	1	40	—	40	3
2月	5	2	0	3	220	—	220	4
3月	4	2	0	2	150	—	150	6
計	83	50	12	21	3,920	623	4,543	132

### ★ ★ 申込み団体等類別表 ★ ★

- 地区市民センター：県地区、橋北地区2回、三重地区
- その他の公共施設：少年自然の家2回、北部児童館4回、内部学童保育所、かいぞう文庫2回
- 子ども会等：あさけが丘二丁目、あさけが丘三丁目、追分、小杉町、下さざらい町、波木町、南松本町、大谷台二丁目子ども会育成会、浜田地区子ども会育成会2回
- 自治会・育成会等：九城町自治会2回、三滝台自治会、十志町育成会、北永台育成会、笛川地区協議会2回、神前地区青少年育成推進協議会、泊山小学校区青少年育成会、下野地区青少年育成推進委員会、波木町スポーツクラブ
- その他の公共団体：港まつり実行委員会、四日市青年会議所、四日市自然保护推進委員会2回、四日市大学あかつき祭実行委員会
- 自然教室：保々小、常磐中
- 中学校：大池中理科クラブ2回、中部中2回
- 小学校：川島小、河原田小、富洲原小2回、三重西小
- P T A主催：塩浜小2回、常磐西小4回、羽津小2回、東橋北小、四郷小、羽津中2回
- 博物館主催：サンデー太陽8回、月をみよう2回、木星・土星をみよう
- その他の団体：四日市北子ども劇場、四日市南子ども劇場、大矢知地区こども劇場、水沢町有志の方等

## II. 管理・運営

### 1. 組織 (平成11年3月末現在)

#### (1) 職員構成

館長 ————— 副館長 ————— 副参事  
 渥美 保 森 和江 谷口 理  
 (兼副館長補佐)

博物館協議会

資料委員会

#### 管理係

係長 (学芸員)  
 堀越 光信 [歴史]  
 主幹 坂本 幸子  
 主幹兼学芸員  
 伊藤 幸子 [美術]

#### 企画普及係

係長 (学芸員)  
 東條 寛 [民俗]  
 学芸員 秦 昌弘 [歴史]  
 指導主事 井川 和道  
 主事 上杉 達也  
 学芸員 中野 千幸 [考古]  
 学芸員 田中 伸一 [美術工芸]

#### 天文係

副館長補佐 (兼) 係長  
 鈴木 晴美  
 指導主事 岩間 三有  
 主幹 山本 正美  
 指導主事 天春 隆志  
 嘱託 山口 理恵子  
 嘱託 打田 幸弘

#### (2) 事務分掌

##### [管理係]

- ① 博物館事業の調整及び運営に関すること。
- ② 調査、統計及び報告に関すること。
- ③ 博物館協議会に関すること。
- ④ 施設の維持管理及び館内の秩序維持に関すること。
- ⑤ 観覧券の発売及び入館者の受付、案内等に関すること。
- ⑥ 館の庶務に関すること。

##### [企画普及係]

- ① 特別展示の企画及び開催に関すること。
- ② 常設展示及び特別展示の利用者への説明、指導等に関すること。
- ③ 博物館資料の収集、保管、展示、貸出し及び利用に関すること。
- ④ 博物館資料の調査研究及び報告書の刊行頒布等に関すること。

- ⑤ 講演会、講習会、研究会等の開催に関すること。
- ⑥ 博物館資料の購入、受贈及び受託に関すること。
- ⑦ 博物館の広報に関すること。

[天文係]

- ① プラネタリウムの映写及び天体観測に関すること。
- ② 天文知識の普及及び啓発に関すること。
- ③ 天文資料の収集、保管、展示及び調査研究に関すること。

## 2. 予 算 (平成10年度)

[歳 入]

(単位 : 千円)

科 目				当初予算額
使用料及び手数料				
使用料	博物館使用料		博物館観覧料	16,600
教育使用料			プラネタリウム観覧料	12,200
社会教育使用料			講座室使用料	1,000
			特殊器具使用料	4
財産収入				
財産売払収入	市史等売払収入			3,500
物品売払収入				
物品売払収入				
諸収入				
雜 入				
雜 入				
雜 入	博物館委託販売手数料			1,800
	計			35,104

[歳 出]

(単位 : 千円)

科 目	当初予算額	管理運営	調査研究	展示開催	資料収集	教育普及	プラネタリウム運営	天文車運営
報 酬	474	474						
賃 金	4,529	2,665		1,497	367			
報 償 費	2,681	50	401	745	150	210	1,095	30
旅 費	3,166	193	626	2,246	59		42	
需 用 費	50,285	34,365	2,040	9,110	395	400	3,685	290
役 務 費	8,915	2,006		5,019		1,890		
委 託 料	196,835	110,607		41,853	2,409	413	41,215	338
使 用 料 及 び 賃 借 料	11,055	4,105		20	840	20	6,070	
備 品 買 入 費	2,006				20,000			63
負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	29,554	91	39	29,400		15		9
計	327,557	154,556	3,106	89,890	24,220	2,948	52,107	730

### 3. 博物館協議会

四日市市立博物館協議会は、博物館の運営に関して館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として、博物館法及び四日市市立博物館条例の規定に基づき、平成5年6月1日付けで委員17名（定数20人）を委嘱（任期2年）して設置。任期満了につき、新たに委員を委嘱し、変更している。なお、平成10年度は2回開催された。

#### ●第1回協議会

開催日 平成10年7月28日(火)午前1時30分～  
 場 所 博物館講座室  
 議 題 (1) 委員紹介・委嘱状交付  
           (2) 正・副委員長選出  
           (3) 10年度事業実施状況  
           (4) 11年度事業計画

#### ●第2回協議会

開催日 平成10年10月15日(木)午後1時30分～  
 場 所 博物館講座室  
 議 題 (1) 10年度事業実施計画  
           (2) 11年度事業計画

#### ●第3回協議会

開催日 平成11年3月4日(木)午後1時30分～  
 場 所 博物館講座室  
 議 題 (1) 10年度事業実施状況  
           (2) 11年度事業計画

#### 〔四日市市立博物館協議会委員〕

平成11年3月末現在

区分	職 名	氏 名
学校教育関係 5名	四日市市小学校長会代表（内部小学校校長）	千種 成男
	四日市市中学校長会代表（三重平中学校校長）	若林 可之
	四日市市公立幼稚園長会会長（三重西幼稚園園長）	田口 鉄久
	三重県北勢地区高等学校代表（四日市高等学校校長）	近藤 和也
	私立学校代表（暁小学校校長）	小出 正章 (副委員長)
社会教育関係 3名	四日市市P T A連絡協議会代表（会長：県小学校P T A）	多湖 又次
	四日市市子供会育成者連絡協議会代表（指導部長）	清水 宣夫
	四日市市自治会連合会代表（副会長）	江川 滋
学識経験者 7名	四日市市文化財保護審議会代表（会長）	石田 昇三 (委員長)
	報道機関（市政記者クラブ）代表（毎日新聞四日市支局長）	堅場 勝司
	四日市商工会議所（文化・観光委員会委員長）	熊澤 真清
	四日市大学環境情報学部助教授（中世史）	播磨 良紀
	三重県立津高等学校教諭（天文）	鈴木 美好
	三重県立博物館館長	富田 靖男
	四日市市文化振興財団理事（四日市大学短期大学部教授）	松屋 文子
ボランティア代表 4名	四日市市立博物館ボランティアの会代表	川喜田 孝
	四日市市立博物館ボランティアの会代表	久保村秀高
	四日市市立博物館ボランティアの会代表	吉川裕美子
	四日市市立博物館ボランティアの会代表	内田 晴郎

## 4. 利用状況（平成10年4月1日～平成11年3月31日）

## (1) 常設展

(上段：月計、下段：累計、単位：人)

月 開館 日 数	有料観覧者												無料観覧者										観 覧 者 合 計			
	個人			団体 (20%割引)			減免 (50%割引)			減免 (50% 割引の 団体)			有料 入館 者計	小中学校		園児		他団体		幼 児	招 待 券	引 率	無 料 入 館 者 計			
	一般	高 大	小 中	一般	高 大	小 中	一般	高 大	小 中	一般	高 大	小 中		校	人 数	校	人 数	校	人 数							
4	25	763	36	357	43		9	2					1,210	2	97					132	401	0	630	1,840		
5	27	1,918	65	996	31	50	10		1				3,071	6	342	1	21	1	7	328	671	1	1,370	4,441		
	52	2,681	101	1,353	74	50	0	19	2	1	0	0	4,281	8	439	1	21	1	7	460	1,072	1	2,000	6,281		
6	26	928	85	145			17	1	5				1,181	2	142	12	438	2	68	85	735			1,468	2,649	
	78	3,609	186	1,498	74	50	0	36	3	6	0	0	5,462	10	581	13	459	3	75	545	1,807	1	3,468	8,930		
7	26	791	51	520	13	19	8						1,402	6	285	9	413	2	55	120	398			1,271	2,673	
	104	4,400	237	2,018	87	69	0	44	3	6	0	0	6,864	16	866	22	872	5	130	665	2,205	1	4,739	11,603		
8	27	1,626	180	1,423	35		41	15		3			3,323							2	27	296	1,072	1	1,396	4,719
	131	6,026	417	3,441	122	69	41	59	3	9	0	0	10,187	16	866	22	872	7	157	961	3,277	2	6,135	16,322		
9	25	1,485	55	125	17		12	15					1,709							84	639			723	2,432	
	156	7,511	472	3,566	139	69	53	74	3	9	0	0	11,896	16	866	22	872	7	157	1,045	3,916	2	6,858	18,754		
10	27	1,339	73	190	157		546	5					2,310	8	642	1	25	2	18	179	670	47	1,581	3,891		
	183	8,850	545	3,756	296	69	599	79	3	9	0	0	14,206	24	1,508	23	897	9	175	1,224	4,586	49	8,439	22,645		
11	26	973	78	248	26		207	6	1				1,539	12	1,016	1	22			160	433	16	1,647	3,186		
	209	9,823	623	4,004	322	69	806	85	4	9	0	0	15,745	36	2,524	24	919	9	175	1,384	5,019	65	10,086	25,831		
12	23	881	73	112			12						1,078	2	95				1	408	30	117		650	1,728	
	232	10,704	696	4,116	322	69	806	97	4	9	0	0	16,823	38	2,619	24	919	10	583	1,414	5,136	65	10,736	27,559		
1	25	1,249	58	169	85		100	15					1,676	9	554	1	40			43	374	15	1,026	2,702		
	257	11,953	754	4,285	407	69	906	112	4	9	0	0	18,499	47	3,173	25	959	10	583	1,457	5,510	80	11,762	30,261		
2	24	978	19	55	112		117	5		1			1,287	3	249	2	71	2	368	38	180	8	914	2,201		
	281	12,931	773	4,340	519	69	1,023	117	4	10	0	0	19,786	50	3,422	27	1,030	12	951	1,495	5,690	88	12,676	32,462		
3	26	1,295	37	76	32		11	16					1,467				3	87			52	343		482	1,949	
計	307	14,226	810	4,416	551	69	1,034	133	4	10	0	0	21,253	50	3,422	30	1,117	12	951	1,547	6,033	88	13,158	34,411		

## (2) 特別展

(上段：月計、下段：累計、単位：人)

月	開館日数	有料観覧者												無料観覧者								観覧者総計		
		個人			団体 (20%割引)			減免 (50%割引)		減免 (50%割引の団体)		有料入館者計	小中学校		園児		他団体		幼児	招待券	無料入館者計			
		一般	高大	小中	一般	高大	小中	一般	高大	小中	一般		校	人数	校	人数	校	人数	児	招待券	無料入館者計			
①	45	3,274	109	1,653	44	38	26	2	1	1		5,148	11	592	2	44	1	7	591	1,796	3,030	8,178		
②	21	1,349	141	157			26	1	6			1,680	3	62	12	616	1	160	145	1,382	2,365	4,045		
	66	4,623	250	1,810	44	0	38	52	3	7	1	0	0	6,828	14	654	14	660	2	167	736	3,178	5,395	12,223
③	53	2,965	179	2,600	43	78	24		5			5,894	6	211	11	669	4	82	566	2,787	4,315	10,209		
	119	7,588	429	4,410	87	0	116	76	3	12	1	0	0	12,722	20	865	25	1,329	6	249	1,302	5,965	9,710	22,432
④	26	2,858	92	158	2	27						3,137	1	65						89	1,778	1,932	5,069	
	145	10,446	521	4,568	89	0	143	76	3	12	1	0	0	15,859	21	930	25	1,329	6	249	1,391	7,743	11,642	27,501
⑤	35	3,945	323	715	105	191	23					5,302	18	1,492	5	172	2	21	702	1,626	4,013	9,315		
	180	14,391	844	5,283	194	0	384	99	3	12	1	0	0	21,161	39	2,422	30	1,501	8	270	2,093	9,369	15,655	36,816
⑥	29	3,548	164	391	119	100	45	1	1			4,369	7	352				1	408	115	1,296	2,171	6,540	
	209	17,939	1,008	5,674	313	0	434	144	4	13	1	0	0	25,530	46	2,774	30	1,501	9	678	2,208	10,665	17,826	43,356
⑦	40	3,068	73	107	146	41	22		1			3,458	3	249			2	368	84	927	1,628	5,086		
計	249	21,007	1,081	5,781	459	0	475	166	4	14	1	0	0	28,988	49	3,023	30	1,501	11	1,046	2,292	11,592	19,454	48,442

## 特別展・企画展

- ①「生命史20億年 —ヒトのルーツをさぐる」 4月10日～5月31日
- ②「暮らしの中の木の椅子展」 6月7日～6月29日
- ③「発明王エジソン展」 7月5日～8月29日
- ④「ハプスブルク家の遺宝～マリア・テレジア古伊万里コレクション展」 9月5日～10月4日
- ⑤「'98 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」 10月9日～11月17日
- ⑥「日本の美～縄文から江戸まで」 12月13日～1月18日
- ⑦「萬古～流行と不易の焼物」 2月11日～3月28日

## (3) プラネタリウム

(上段：月計、下段：累計、単位：人)

月	投映回数	有料観覧者												無料観覧者								観覧者総計		
		個人			団体 (20%割引)			減免 (50%割引)		減免 (50%割引の団体)		有料入館者計	小中学校		園児		他団体		幼児	招待券	無料入館者計			
		一般	高大	小中	一般	高大	小中	一般	高大	小中	一般		校	人数	校	人数	校	人数						
4	75	389	62	203				2				656			1	23				68	251	342	998	
5	97	906	82	338	21	50	116	5				1,518	5	309	1	21	1	38	120	68	556	2,074		
	172	1,295	144	541	21	50	116	7	0	0	0	2,174	5	309	2	44	1	38	188	319	898	3,072		
6	85	752	65	286				31		1		1,135	4	169	29	1,321	2	38	307	199	2,034	3,169		
	257	2,047	209	827	21	50	116	38	0	1	0	0	3,309	9	478	31	1,365	3	76	495	518	2,932	6,241	
7	98	1,560	106	677				9				2,352	9	404	28	1,464	5	78	839	446	3,231	5,583		
	355	3,607	315	1,504	21	50	116	47	0	1	0	0	5,661	18	882	59	2,829	8	154	1,334	964	6,163	11,824	
8	112	2,461	129	1,470	16			14	11	1	3		4,105			2	76	6	170	1,433	1,419	3,098	7,203	
	467	6,068	444	2,974	37	50	130	58	1	4	0	0	9,766	18	882	61	2,905	14	324	2,767	2,383	9,261	19,027	
9	70	818	79	217	17			15	7			1,153	2	68					319	65	452	1,605		
	537	6,886	523	3,191	54	50	145	65	1	4	0	0	10,919	20	950	61	2,905	14	324	3,086	2,448	9,713	20,632	
10	100	540	61	134	17			512	8		0		1,272	13	969	3	118			109	195	1,391	2,663	
	637	7,426	584	3,325	71	50	657	73	1	4	0	0	12,191	33	1,919	64	3,023	14	324	3,195	2,643	11,104	23,295	
11	104	898	91	295	8			182	1	0			1,475	13	1,078	2	39	2	55	131	61	1,364	2,839	
	741	8,324	675	3,620	79	50	839	74	1	4	0	0	13,666	46	2,997	66	3,062	16	379	3,326	2,704	12,468	26,134	
12	61	655	67	118				1				841	4	201	1	15	3	445	97	45	803	1,644		
	802	8,979	742	3,738	79	50	839	75	1	4	0	0	14,507	50	3,198	67	3,077	19	824	3,423	2,749	13,271	27,778	
1	91	550	52	215				37	4			858	7	536	3	178	1	9	133	67	923	1,781		
	893	9,529	794	3,953	79	50	876	79	1	4	0	0	15,365	57	3,734	70	3,255	20	833	3,556	2,816	14,194	29,559	
2	85	494	66	135	5			118	3		13		10	844		417		277		402	80	46	1,222	2,066
	978	10,023	860	4,088	84	50	994	82	1	4	13	0	10	16,209	57	4,151	70	3,532	20	1,235	3,636	2,862	15,416	31,625
3	76	479	51	205	22			56	16			829			5	147			187	149	483	1,312		
計	1,054	10,502	911	4,293	106	50	1,050	98	1	4	13	0	10	17,038	57	4,151	75	3,679	20	1,235	3,823	3,011	15,899	32,937

## IV. 利用案内

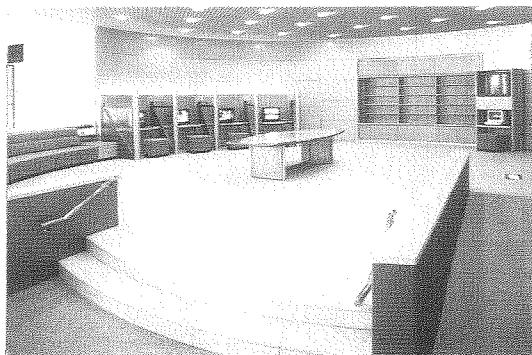
### ●博物館を彩る施設（無料利用できる部分）

#### □エントランス・ホール（1F）

入口を入ると5Fまで吹き抜けているアトリウムとシースルーエレベーターが目を引く。ここは誰でも入れる自由空間。喫煙コーナーもあり待ち合わせに最適な場所でもある。

#### □情報コーナー（1F）

4台のLCDにより四季にわたり四日市各地に伝わる伝承行事を入館者が自由に観ることができる。また、歴史・自然・美術工芸などの書籍も自由に閲覧でき、インターネットによる市政情報検索が可能。



#### □ミュージアム・ショップ（1F）

入館の思い出となる記念品や市、博物館が刊行する図録等の書籍を販売。



#### ●開館時間／午前9時30分～午後5時

(ただし入館は午後4時30分まで)

#### ●休館日／水曜日（休日の場合は翌日）

12月29日～1月3日

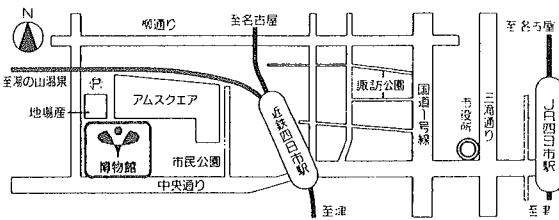
	常設展示	プラネタリウム
●料 金／一 般	210円	530円
高・大学生	160円	370円
小・中学生	100円	200円

※料金には消費税が含まれています。

●会場内での写真撮影、模写、万年筆、毛筆などの使用はお断りします。

●陳列ケース、展示品には触れないでください。

●館内での喫煙、飲食はご遠慮ください。



※博物館には駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

#### □陶壁（2Fロビー）

四日市市の歴史、美術資料の展示効果と現代建築における陶の材質美との調和を図るために、通路を歩く人の動きとともに画面が変化する一種のだまし絵的効果を意図した。

A面：安藤広重作

東海道五十三次「四日市の図」

B面：歌川国貞作「蜃気楼の図」

これらを四日市萬古焼きの伝統技法により焼成。

高さ2.5メートル 幅5.0メートル

制作：萬古環境造形体

—— 平成10年度 ——  
**四日市市立博物館年報 第6号**

---

平成11年10月31日 発行

編集・発行 四日市市立博物館

〒510-0075 四日市市安島一丁目3番16号

TEL 0593-55-2700（代）

FAX 0593-55-2704

印 刷 東海出版有限会社

---



再生紙使用

